

平成 24 年度垂高フリーマガジン作っちゃいますプロジェクト／垂水高校の魂と情熱を届けます！

TaruTama



鹿児島県立垂水高等学校フリーマガジン[たるたま]

たるたま第2弾
出来たよ！

映画クーポンも
ついてるよ！

特集

hand in hand

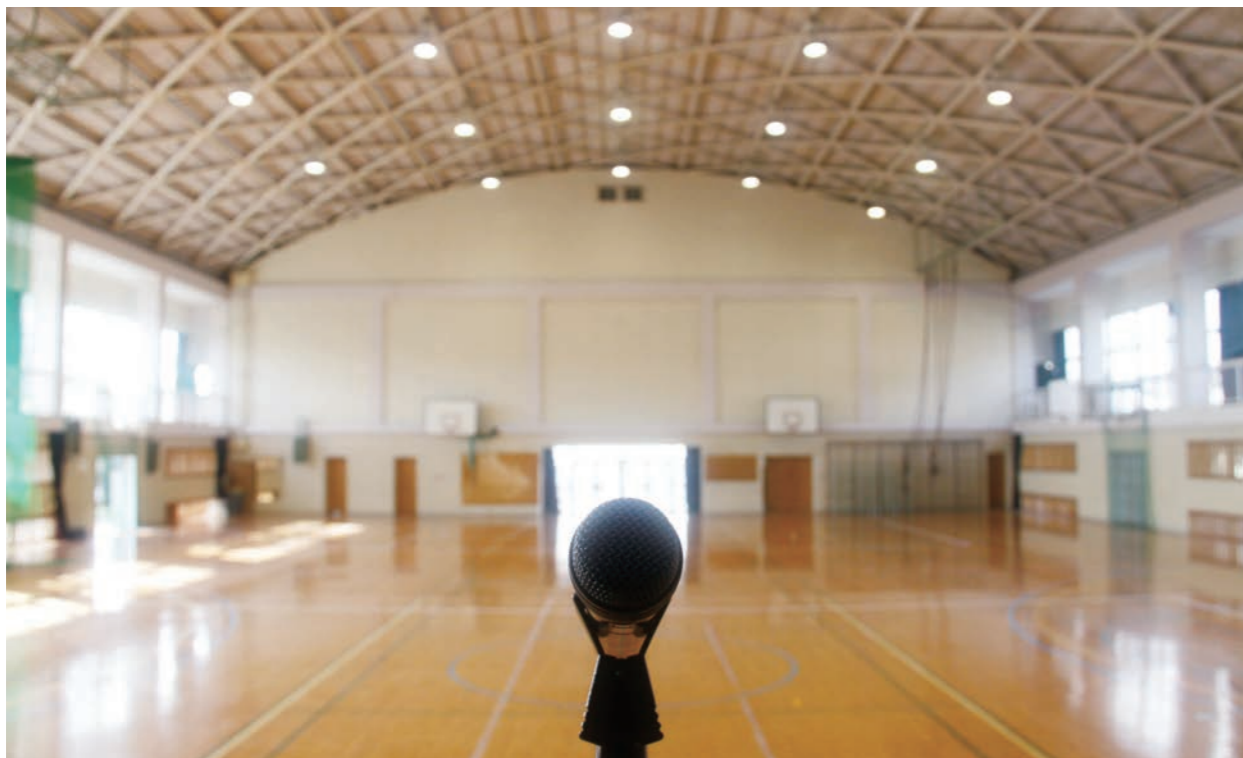
私たちの未来は

手の中に

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください
発行部数 3,500 部（数に限りがあるよ！）

君はまだ
真の垂高の
楽しさを
知らない。



そこで手に入れたもの

最近、大勢の前で話をする機会が増えた。今までだつて全く無かった訳ではないけれど、この一年で格段に増えていった。元々人前に立つことは苦手で、極力そういう役割を避けていたというのに。高校に入って、二年生に、そして生徒会長になって、あつという間に半年が過ぎて、気が付いたらもう何度たくさんの人の前に立つたのだろうか。最初の頃は、それを任された前日は、明日が来なければいいのにと思ったし、休んでしまおうかとも思った。けれど、そうやってなんとか続けていくうちに、ある日ふと、壇上からの景色が目に見え、根拠の無い自信が湧いてきて、いつもより落ち着いて読む事ができたのを覚えている。それがきっかけだったかは分からないけど、壇上で話をする事が、今までより怖くなくなった。

「自分が経験した分だけ人に話せるようになる。」とある講演で聞いた言葉だ。この言葉を聞いてから、考え方が変わった。こうやって大事な役を任されるのはチャンスだ。それを失敗したり、間違ったりしながら乗り越え、私は成長していきける。人数が少ないからこそ、一人ひとりに与えられるチャンスは大きい。他の場所だと、大勢の中に埋もれていたかもしれない。ここでの経験は私の糧になる。この垂水高校だからこそ、私は自分の中にある無限の可能性を見つけたのだと、そう思う。



Writer
川畑 結花
垂水高校 普通科2年

Introduction /はじめに

垂水高校は、大正14年に設立され平成24年で創立87周年を迎える高校です。地元では「垂高(タルコウ)」の愛称で呼ばれ、地域に貢献している多くの人材を輩出し、地域と連携してきた歴史と伝統、実績をもとに、垂水市になくてはならない教育機関として現在に至っています。



垂高フリマガ / TaruTama

本誌「TaruTama (たるたま)」は、自治体と地元高校がコラボレーションしたフリーマガジン(フリマガ)です。垂水市が策定した「垂水高校振興支援計画」の「広報・PR活動」として計画されたもので、その名も「垂高フリーマガジン作っちゃいますプロジェクト」。垂水高校全生徒からプロジェクト参加者を募り、制作委員となった生徒15名が夏休み返上で製作に当たり「垂水高校愛」という魂を込めて創刊号を発行しました(平成24年10月1日)。これを機会に、多くの皆様(特に、中学生の皆様)に垂水高校を知っていただき、少しでも興味をもってもらえれば幸いです。

※ TaruTamaは、「西日本新聞(平成24年9月7日発行24面)」、「南日本新聞(平成24年9月12日発行19面)」で紹介いただきました。

TaruTama



2013 Spring Vol.2

Contents

生徒コラム / P3

そこで手に入れたもの ~川畑結花~

特集 / P5 ~ P17

hand in hand 私たちの未来は 手の中に

- 1 P6 ~ P7 高校生三冠王
- 2 P8 ~ P9 後輩たちよ いつでも相談にのるよ
- 3 P10 ~ P13 垂高先輩4人
- 4 P14 ~ P15 突撃! 隣の垂高飯 ver.2
- 5 P16 ~ P17 高校生見聞録

教諭紹介 / P18

三技一体 ~山下壽也~

部活、それは青春の輝き! / P19

ブカツなう。~美術部~



◎垂水高校生へ通学費補助を新設!

垂水市は、垂水高校を支援するため、平成25年度も引き続き、次のようなサポートを行います。皆さん、垂水高校で有意義な時間を過ごしてください!

- ①通学費補助 2,643,000円 (通学に係る費用の3分の2を補助)
- ②検定試験等補助 1,140,000円 (模擬試験や各種検定料を補助)
- ③部活動活性化補助 720,000円 (外部指導者招請費用など部活動への補助)
- ④広報強化支援 460,000円 (看板製作や広報誌発行等への補助)

◎コンテンツについて

本誌コンテンツは、創刊号の製作方法(制作委員:生徒の活用)と異なるアプローチを試みました。制作期間が卒業式・修了式前であったことから、「生徒負担を極力少なくする」という考え方のもと、校長・教頭・事務長・広報担当がアイデアを考え、垂水市がそれをサポートする形態です。生徒は、リポーター等で参加していただきました!

◎発行
垂水市
(鹿児島県垂水市上町114 / ☎0994-32-1111)
垂水高校
(鹿児島県垂水市中央町14 / ☎0994-32-0062)

◎コンテンツ企画
垂水高校校長・教頭・事務長・広報担当

◎取材・撮影・編集
垂水市(総務課秘書広報係)

◎印刷・製本
(有)垂水中央印刷 ☎0994-32-0315

◎注意:写真、イラスト等の無断転載を禁じます。

特集

hand in hand

👏 私たちの未来は 手の中に

手は口ほどに モノを言っちゃう？

「手」ってすごいと思いませんか？
人と人が絆を確認し合う「握手」や
芸術から日用品を生み出す「職人の手」
その人の想いや意思が、
「手」から相手へと伝わっていきます。

第2弾となる TaruTama 特集では、
「手」をテーマに垂水高校の取組や絆を
紐解いちゃいます。

©文化祭ファッションショー
垂水高校の文化祭では、ファッションショーが毎年開催されている。この時間は、生活デザイン科で学んだ技術を、生徒・先生、そして保護者が実感する貴重な時間となっている。

Title : Mika Otakeno Photo : 写真のシオヤ

新作映画紹介 / シネマシネマ

CINEMA! CINEMA!!

TaruTama×鹿児島ミッテ 10×広報たるみず

垂水市の広報誌「広報たるみず」で連載されている「シネマクーポン」が、鹿児島ミッテ 10の御協力のもと、TaruTamaにも登場！中学生・高校生の皆さん、映画を見る時は、お得なクーポン券をどうぞご利用ください！

公開 4/6 日



ジャンゴ 繋がれざる者

公開 4/13 日



舟を編む

公開 4/13 日



ライジングドラゴン

公開 4/19 日



リンカーン

公開 4/20 日



名探偵コナン 絶海の探偵

公開 4/20 日



映画 クレヨンしんちゃん
バカうまっ! B級グルメサバイバル

公開 4/26 日



ジャッキーコーガン

公開 4/27 日



図書館戦争



→ 自動券券機

◎クーポンご利用上の注意

- ①クーポンは、鹿児島ミッテ 10でのみ利用可能です。
- ②自動券券機 (KINEZO) では、該当割引料金を選択し、料金をお支払いください。クーポンは、入場 (もぎり) の際に係員にお渡しください。
- ③ここでご紹介している以外の作品にもご利用いただけます。
- ④一部、特別興行には利用不可です。なお、本券のコピーは利用不可です。

◎鹿児島ミッテ 10 通常料金

- ①一般 / 1,800 円
 - ②大学生 / 1,500 円
 - ③高校生・中学生・小人・シニア / 1,000 円
 - ※小人: 3 歳以上 ※シニア: 60 歳以上
 - ※ 3D 作品は +300 円
- 鹿児島ミッテ 10 ☎ 099-812-6662

鹿児島ミッテ 10 シネマクーポン

有効期間 H25.4.1月 ~ H25.6.30 日

一般・大学生 **¥300 引** (一般 1,800 → 1,500 / 大学生 1,500 → 1,200)
 高校生以下 **¥100 引** (高校生以下 1,000 → 900)

※本券は入場 (もぎり) の際に係員にお渡しください。
 ※本券 1 枚で 2 名様まで有効です。※学生は学生証が必要です。
 ※他割引システムとの併用不可、本券のコピーは利用不可です。

鹿児島ミッテ 10 シネマクーポン

有効期間 H25.4.1月 ~ H25.6.30 日

一般・大学生 **¥300 引** (一般 1,800 → 1,500 / 大学生 1,500 → 1,200)
 高校生以下 **¥100 引** (高校生以下 1,000 → 900)

※本券は入場 (もぎり) の際に係員にお渡しください。
 ※本券 1 枚で 2 名様まで有効です。※学生は学生証が必要です。
 ※他割引システムとの併用不可、本券のコピーは利用不可です。

鹿児島ミッテ 10 シネマクーポン

有効期間 H25.4.1月 ~ H25.6.30 日

一般・大学生 **¥300 引** (一般 1,800 → 1,500 / 大学生 1,500 → 1,200)
 高校生以下 **¥100 引** (高校生以下 1,000 → 900)

※本券は入場 (もぎり) の際に係員にお渡しください。
 ※本券 1 枚で 2 名様まで有効です。※学生は学生証が必要です。
 ※他割引システムとの併用不可、本券のコピーは利用不可です。

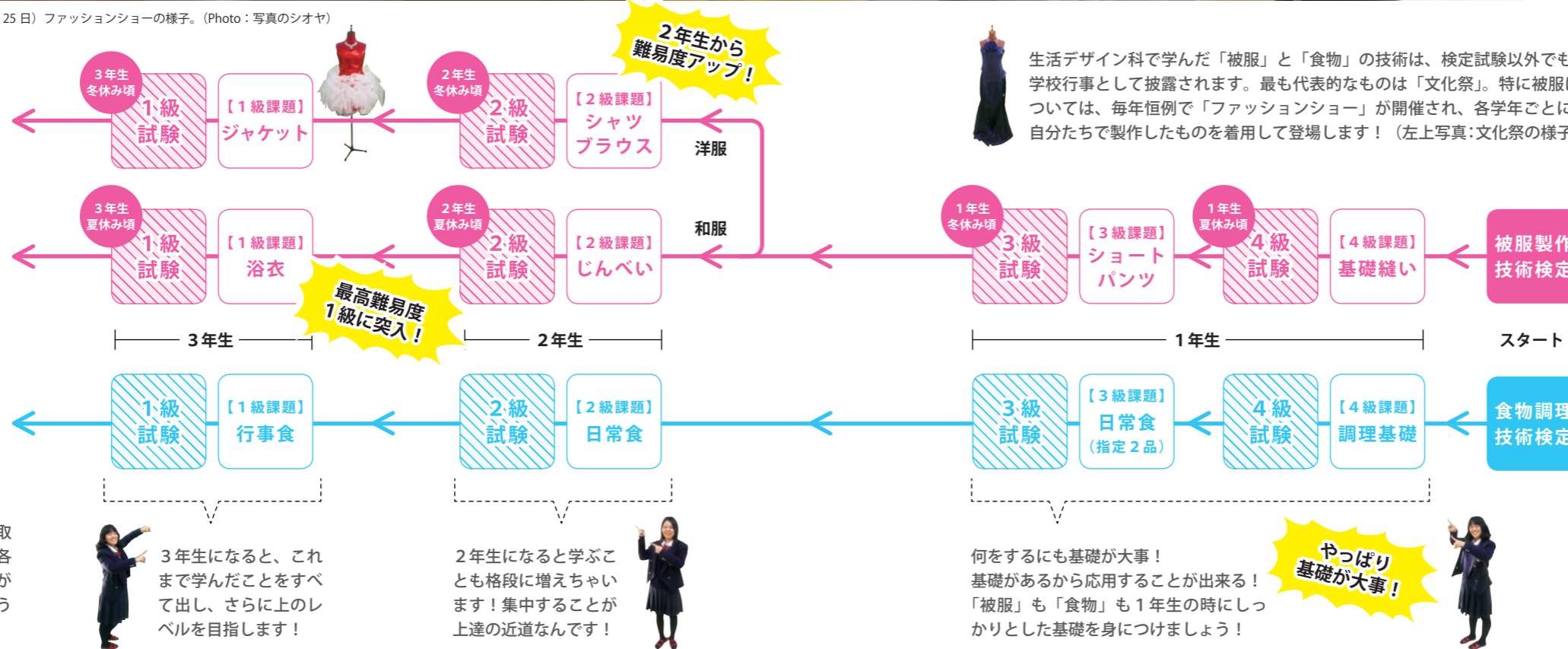
高校生 三冠王



↑平成24年度垂水高校文化祭（平成24年10月25日）ファッションショーの様子。（Photo：写真のシオヤ）



1級は特に難しく、誰でも三冠王を取れるわけではありません。しかし、各個人の努力次第で十分取得することが出来ます。限られた時間を有効に使うことが合格のカギと言えます！



生活デザイン科で学んだ「被服」と「食物」の技術は、検定試験以外でも、学校行事として披露されます。最も代表的なものは「文化祭」。特に被服については、毎年恒例で「ファッションショー」が開催され、各学年ごとに、自分たちで製作したものを着用して登場します！（左上写真：文化祭の様子）

教えてくれる人（三冠王）



生活デザイン科 3年 西尾 逸美

私たちが教えちゃいます！



生活デザイン科 3年 永田 梨乃

これが三冠王への道のりだ！

検定試験は、「実技試験」と「筆記試験」の2種類があります！また取得にかかる検定料（600円～1500円）は、全額「垂水市」がサポートしてくれるから安心なんです。

1級検定は本当に大変でした。進学に向けての勉強や、課題研究の作品づくり、1級検定など、学年が進むごとに忙しくなり、「時間が足りない、無い！」という場面がたくさんありました。今思えば、大変な日々を過ごしていたと思います。でも、そのおかげで、生活デザイン科に入ってから3年間は充実した日々を送れたのではないかと感じています。三冠王が取れてよかったです。これからの人生に活かしていきたいと思っています。

case 2 西尾 逸美さん

3年生になると進学の準備も大変です。三冠王を取るのには本当に大変でした。何回も逃げ出したくなる時がありました。1年生で基礎をしっかりと学ぶことが出来たこと、先生方のご指導のおかげで、取得することが出来ました。本当に充実した高校生活でした。ありがとうございました。

case 1 永田 梨乃さん

3年生になると進学の準備もあるため、1・2年生の時の時間の使い方を直したり、休みたいと思います。

野球では「首位打者・打点王」を獲得した選手を三冠王と言いますが、ここで言う三冠王とは、野球はまったく関係のないもの。垂水高校の生活デザイン科のように「食物」や「被服」に関する学科のある高校では、これらの検定をクリアしていくことがある種の目標となります。つまり、ここで言う三冠王とは、食物に関する「食物調理技術検定1級」と被服に関する「被服製作技術検定（和服）1級」、「被服製作技術検定（洋服）1級」の三つの1級合格者を指します。今年、垂水高校で三冠王に輝いたのは、生活デザイン科3年生の永田梨乃さんと、西尾逸美さん。この二人をナビゲーターに、三冠王までの流れを勉強してみたいと思います。



後輩／1年1組
吉原 万里奈
×
森 明日香
先輩／2年1組



後輩／1年1組
西 翔太
×
川畑 結花
先輩／2年1組



後輩／1年1組
堀之内 咲
×
西尾 美里
先輩／2年1組



conference 3 勉強の仕方と検定

- 吉** 家での勉強時間はどれくらい？
- 森** 平日は最低2時間で、休日は平均5～6時間かな。
- 吉** どんな勉強をしていますか？
- 森** 平日は予習・復習・宿題の時間に充てるのが精一杯。特に英語は予習、数学は復習が大事。休日は平日にやり残した科目について時間をかけています。
- 吉** 何か検定を取得していますか？
- 森** ワープロ検定2級を取りました。
- 吉** 進学コースでもワープロ検定に向けての授業があるのですか？
- 森** 授業はないですね。ただ自分がチャレンジしたいと思えば、放課後に、商業科の先生方が補講をして下さるので安心して挑戦できます。先生方は他にも漢字・英語・数学検定の取得に向けて、指導をさせていただきます！
- 吉** 参考になりました。また相談に乗ってください！

conference 2 部活と勉強の両立

- 西** 2年生になって勉強で苦労した事はありませんか？
- 川** 1番は勉強時間の確保です。進学コースでは進学に向け、普通教科の科目がより発展的な内容になり時間数も増えます。もちろん予習や復習も大事になります。さらに、私は2年生の時に弓道部に入部しましたので、両立がとても大変でした。
- 西** 私も部活と勉強の両立に苦労しています。両立のコツがあれば教えてください。
- 川** とにかく生活にメリハリをつけることです。部活の時は、一生懸命部活に取り組む、勉強する時は集中して勉強をする、そして寝るときは寝る。でも1番の勉強のコツは、先生方の授業をしっかり聞くことです。
- 西** メリハリですね。がんばってみたいです！ありがとうございました。

conference 1 将来の夢と準備

- 堀** 将来の夢は決まっていますか？
- 西** 私は将来、介護福祉士になりたいと思っています。
- 堀** きっかけはありますか？
- 西** 真剣に考えたのは高校に入学してからです。私が住んでいる地域は高齢者が多く、接する機会もよくあります。私は高齢者と話をしたりするのがすごく好きで、そんな高齢者と接する仕事がないかと調べた時に介護福祉士という職業を知りました。
- 堀** 夢の実現のために現在取り組んでいることはありますか？
- 西** 「介護福祉士」や「社会福祉士」の資格を取得するために、4年制大学への進学を希望しています。本格的な勉強は進学してからなので、今は基礎学力を付ける努力をしています。
- 堀** 目指すものが明確だと進む道もはっきり見えているんですね。

普通科編
後輩たちよ
いつでも相談にのるよ👋

学生でも大人でも自分では答えが出せない時って結構ありますよね。
そんな困った時は、まず相談してはどうですか？
何か解決の手掛かりが見つかるかも！？



1・2朝課外の様子。この日の授業は「世界史」です。「ローマ帝国が分裂した時の皇帝は？」と先生から質問が飛ぶ。3対談メンバー（写真右：2年生、左：1年生）



先輩たち、
教えてください！

垂水高校のもう1つの特色である普通科の取組。その魅力は、とにかく先生方や先輩・後輩との距離が近いこと。勉強や資格取得の個に応じた対応はもちろんのこと、日常生活での悩みや不安も親身に相談に乗ってくれます。また上の写真のような「朝課外」にも取り組み、学力向上に努めています。

普通科は、「進学コース」と「情報コース」があります。1年生から2年生への進級時に、コースの選択を行います。「進学コース」は、その名の通り、大学受験を目指すコースで、国語・地理歴史・公民・数学・理科・英語を中心に学習します。「情報コース」は、簿記・情報処理などの商業科目を学習し、就職や専門学校への進学を目指します。

今回は、そんな普通科の中でも進学コースに進んでいる2年生3名に、来年度進学コースに進む1年生3名が、今抱えている不安や疑問をぶつけてみました。

丸山 邦愛

内科医

医療法人 徳洲会 鹿児島徳洲会病院

新しい環境で 必ず何か見つかるはず

高校時代、ルーズで遅刻の常習犯だった青年が、命の現場に立っている。「本当にルールを守らないヤツで、毎日、先生に愛の鞭をもらってましたね。でも何かと面倒をみてもらいました。垂水高校だったから今があると思います。」記憶力は人一倍よく、鹿児島大学法文学部を卒業後、鹿屋市で個人塾を10年ほど経営したと言う丸山医師。

「当時もまだルーズで、毎日をそれとなく過ごし、『このままだと倒産してしまう』という状態でした。そんな中、『このままじゃいけない』と塾の教え子に説得され、堅実な職業に就くことに。軽い気持ちで鹿児島大学医学部を受験してみたんです。受験では、高校時代の授業の記憶がよみがえったり、出題の読みが当たり一発合格。42歳で医学部に入学しました。その時に運は全部使っちゃいましたね。」

その後、本気で医師を目指すために、鹿屋市から大学まで自転車で通う日々が続き、48歳で医師に。「どんな時でも誰かが何かを教えてください。それに気づき、見つけることが出来れば、道は開けてきます。」総合内科という現場で、もうルーズじゃない丸山医師が、1分1秒を争い尊い命を救う。



まるやま くにちか／昭和31年6月生／垂水市水之上出身／56歳／昭和50年垂高卒（普通科）／鹿児島大学法文学部・医学部卒／48歳で医師に



公開医療講座→
健康や病気について分かりやすく話をする無料公開講座を実施。

←医療法人徳洲会
鹿児島徳洲会病院
鹿児島市下荒田3-8-1
☎099-250-1110



迫田 直美

看護師

公益財団法人 慈愛会 今村病院

まだまだ学ぶことは多くて 毎日が勉強です！

どこの病院にも白衣の天使は存在する。直美さんもその中の一人と言えるだろう。「学生の頃に、体調を崩し、そこで親切に接して下さった看護師の方を見て、今の仕事に就こうと考えようになりました。看護師になってもうすぐ1年。現場では毎日が勉強で、先輩方の足手まといにならないように、がんばっています。でもまだまだなんです。」そう話す直美さんの表情が、現場の大変さを物語っている。

写真のとおり小柄な彼女。実は高校時代「生徒会長！」と呼ばれていた経歴を持つ。「恥ずかしいので、職場では内緒にしているのですが、高校時代は生徒会長という大役をいただき、充実した学校生活を送らせていただきました。友人たちは全員仲が良く、文化祭では大盛り上がりだったことを鮮明に覚えています。生徒脚本による舞台劇『モモタロウ』で、なぜか金太郎役として出演しました。むちゃくちゃな脚本が本当に楽しかったです。垂水高校は本当に楽しかったです。」

間もなく2年目の看護師人生がスタートする直美さん。高校で培った責任感を心に携え、今日も命の現場で患者さんと向き合っていく。



さこだ なおみ／平成2年6月生／垂水市新城出身／22歳／平成21年3月垂高卒（普通科）／平成24年3月鹿児島中央看護専門学校卒／平成24年4月から看護師として勤務

3 垂高先輩4人。

垂水高校を卒業して社会の最前線で活躍する先輩たち。そんな先輩の中から、今回は垂水市外で活躍されている4人の先輩にお話を伺いました。



高校時代の直美さん→
垂水市広報誌で垂水高校を紹介する際、生徒会長として他の生徒と一緒に掲載された時の写真。当時2年生。美術室で撮影したため、美術で使用する石膏人形を抱えています。

←公益財団法人 慈愛会 今村病院
鹿児島市堀江町17-1 ☎099-226-2600



山口智真

栄養士

熊本市学校給食城西共同調理場

美味しいという言葉 聞くために

「卒業したら地元から離れてみたい」高校生や大学生が将来を見据えた時に思い描く展望の一つ。智真さんもそんな一人。地元鹿児島県から高速道路で車を走らせること約3時間。熊本県熊本市立城西中学校にある学校給食共同調理場で智真さんは働いている。

「高校時代は個性が強い仲間ばかりで楽しい時間でしたね。高校卒業後は、地元を離れてみたくて、まず福岡にある平岡栄養士専門学校に進学しました。2年間しっかり勉強して、栄養士の資格を取得しました。その後、給食センターや社員食堂などを受託している企業に就職し、現在はこの城西中学校内にある施設で、『給食のおねえさん』として、城西中学校と三和中学校の生徒さんたちのために給食を作っています！職場の先輩方は優しく教えてくださいるので、いつも感謝しています。」

城西中学校のすぐ横には坪井川が流れ、海までも近く、どこか垂水市の本城川と錦江湾の立地に似ている。智真さんは、そんなふるさとと同じにおいがする場所で、生徒たちからの「美味しい！」の一言を求めながら、安心・安全な給食を作っている。



やまぐち ちま／平成元年7月生／垂水市市木出身／23歳／平成20年3月垂高卒（生活デザイン科）／平成22年3月平岡栄養士専門学校卒／平成22年4月から栄養士として勤務



←職場の先輩方と

午前中の調理が終わり貴重な休み時間を快くいただき写真撮影！（智真さん：中央手前）

熊本市学校給食→城西共同調理場
熊本市立城西中学校内



大塚香奈

客員教授

仁川大学校
東北アジア経済通商学部
日本通商学科

日本を離れ 韓国で日本を伝える

鹿児島から飛行機で約1時間30分、そこはもうお隣の国・韓国。韓流ブームで日本からの旅行者数は年々増加し、韓国は最も身近な国の1つとなっている。そんな韓流ファンにはたまらない韓国で、香奈さんは日本を伝える仕事をしている。

「高校生だった頃は、勉強に部活動に一生懸命でした。バレー部に所属して、毎日練習をしていた記憶があります。その時の仲間は、今でも大切な友達です。先生方にも大変お世話になりました。センター試験の特訓では中村校長先生に授業が始まる前、地学を教わっていたんですよ。垂水高校ならではのバックアップ態勢だったと思います。そのような高校生活を経て現在は、韓国の仁川大学校の学生に日本語を教える仕事をしています。日本語入門から中級日本語会話さらには読解作文まで。一人で教育にあっているのが正直大変なことがいっぱいありますが、それを乗り越えながら成長出来ているのかなと思います。」

香奈さんは、日本という枠を越え、異国の地で日本文化を伝えることで、より充実した人生を歩んでいる。

おおつか かな／昭和55年7月生／垂水市牛根境出身／32歳／平成11年3月垂高卒（普通科）／平成15年3月志学館大学文学部英語英文学科卒／平成17年3月鹿児島大学人文社会科学部研究科博士前期課程卒／平成21年3月から客員教授として勤務



光化門広場→

ソウルの新名所。広場各所では、韓国の歴史が多彩な形で表現されて、訪れる人を楽しませている。

←仁川大学校

1979年に設立された韓国の国立学校



予想以上に
時間かかったけど
良い感じす！
自己評価は満点！

調理
70分



作った人 1年
濱崎 みづき
生活デザイン科 (左)
若松 慶太郎
普通科 (右)

ウキウキ新緑弁当

自己評価 満点

「できるだけ春をイメージして作りました。予想以上に調理時間がかかってしまいました。彩りは、新緑を表すグリーンピースとブロッコリーがおかずとご飯のアクセントになっていると思います。」

友情弁当！
ここに
完成です！

調理
50分



作った人 1年
樋山 将輝
生活デザイン科 (左)
中島 佑太
生活デザイン科 (右)

春の友情弁当

自己評価 満点

「二人とも普段は料理しないのですが、今回は二人で協力して、コッテリと仕上げてみました。彩りで春を表現出来たと思うので満足しています。これからもどんどん料理に挑戦していきたいです！」



調理
50分

作った人 1年
中島 麻莉亜
生活デザイン科 (左)
堀之内 咲
普通科 (右)

春爛漫弁当

自己評価 3.0

「ご飯は春らしくチューリップをイメージして型取りました。さらにひな祭りをイメージして周りの飾り付けを工夫しました。いつもお弁当を作ってくれるお母さんに感謝したいと思います！」



調理
40分

作った人 2年
森永 ありさ
生活デザイン科

春風スポーツ弁当

自己評価 3.5

「食物調理検定2級の検定試験で作った弁当をアレンジし、新春スポーツをイメージしたサッカーボールのおにぎりも作ってみました。初めは成功するか不安だったけど、良い感じにできました。」



調理
35分

作った人
吉満 智美
垂水高校家庭科教諭

春彩

自己評価 4.0

「担当教科の家庭科ということで、かなりプレッシャーでした。この頃さぼってばかりのお弁当作りですが、たまにはお弁当を持ってどこかにお出かけしたいなっています。」



調理
50分

作った人
伊伏 達
垂水高校理科教諭

ふわふわラブリーカレー

自己評価 満点

「今回初めて弁当づくりに挑戦しました！生活デザイン科の先生方にアドバイスをもらいながら、ふわふわオムレツで、ドライカレーを包んでみました。そのうち、息子に作ってあげようと思います！」

お

弁当箱を開ける瞬間のドキドキ感って、やっぱり皆さんありますよね。「たるたま」創刊号でも大好評いただいた「垂高飯」。第二弾の今回は、春ももうそこまで来てるかな？ということで「春」をテーマにお弁当を作ってみました。「どんな時に」、「誰のために」ということを考えながら、①栄養バランス②彩り③見た目④食べやすさ等、みんな工夫に工夫を重ねながら調理しました。下のお弁当は、2年生の永田 茄歩さんの作品。「おにぎり」「肉巻き」「卵焼き」と色鮮やかに、バランスの取れた高校生らしいお弁当に仕上がっていると思います。生活デザイン科では、食物調理技術検定にも取り組んでいて、1年生で4級（野菜の切り方）・3級（指定料理の調理）を、2年生で2級（日常食の献立と調理）・1級（行事食等の献立と調理）を目標にこれからも学習に力を注いでいきます。

文・垂水高校 家庭科 吉満智美

あの人のお昼はどんなお弁当？

ver.2

4 突撃！隣の垂高飯！！

調理
40分



作った人 2年
永田 茄歩
生活デザイン科

「実は私、毎日弁当を作っていないんです。でも今回は、学んだ技術をいかして、挑戦！ポイントは『彩り』。赤・黄・緑など、食欲をそそのかす仕上がりになったと思います！自分で作ってみるっていいですね。毎日作ってくれるお母さんに改めて感謝する良い時間になりました！」

自己評価 満点



がっつりミニ弁当

👉 高校生見聞録

二つの薩摩ボタンが
出会うとき

新たな世界が現れる。



ブリ・カンパチ〜男は静かに黒桜島〜 (カフスボタン)

垂水市の特産品ブリ(右)とカンパチ(左)をモチーフに、背景には桜島が半分ずつ描かれている。それぞれ独立した一つの作品だが、二つ合わせると桜島の全景が浮かび上がり、鹿児島県と垂水市の雄大な自然を感じる一対の作品となる。黄金で表現されている錦江湾には、純金が混ぜ込んである。(17mm / 1セット 21,000円 / 絵付け舎 薩摩志史 ☎ 0994-32-7209 / 月・火・金)

宝 石のように光り輝く黄金の海を、2匹の魚が飛び跳ねる。上写真は、垂水市大野原にあるアトリエ「薩摩志史」で生まれた新作の薩摩ボタン(カフスボタン)。垂水市が世界に誇る水産物「ブリ(右)」と「カンパチ(左)」が描かれ、二つのボタンを中央で合わせると鹿児島島のシンボル桜島が浮かび上がる仕組みになっている。「百聞は一見に如かず」とはよく言ったもので、話を聞くよりも、本物を自分の目で確かめる方が遙かに理解が深まり、感動するといふもの。ということで、地元の魅力に迫る「高校生見聞録」第1回目のレポーターは、垂水高校1年の前田美奈さん。将来は「マンガ家の道に進みたい」という夢を抱いている16歳。ジャンルは異なるけれど、「描き表現する」という同じ世界の先輩・室田志保さんに、「薩摩ボタン」の魅力についてお話を伺いました。

Reporter



前田 美奈
垂水高校 1年
普通科 / 美術部 / 初めてのレポーター体験、がんばります！



↑プロの仕事は詰まるところ、売れてなんぼの世界。「自分、不器用ですからこれしか出来ません。」と語る室田さんの手から繊細かつ緻密な芸術品が生まれていきます。現在では、そのオリジナル作品数は1,300を超え、更なる進化を遂げています。



室田 志保 / むろた しほ

- 1975 鹿児島県生まれ
- 1995 薩摩焼窯元『橋本陶正山』絵付け部入社
- 2004 イタリアフィレンツェに短期留学
- 2005 九谷焼人間国宝工房にて技術指導を受ける
- 2005 薩摩焼窯元『橋本陶正山』絵付け部退社(10年勤務)
- 2005 大野原にアトリエ「薩摩志史」を構える
- 2007 初個展(ギャラリーピース)
- 2009 第17回日本ボタン大賞優秀賞受賞(審査員特別賞)

前田 薩摩ボタンは、これまで耳にする機会があったのですが、本物を見るのは初めてなんです。
室田 今日はいろいろ聞いてくださいね。薩摩ボタンは、薩摩焼技法が駆使されたボタンで、江戸時代末期に作られました。当時は、海外に輸出され花鳥風月など日本的な絵柄が多く、欧米コレクターが珍重した芸術品だったんです。いつしか作り手も途絶え、現存する物も少なくなっています。
前田 このお仕事のことって、ほかの絵付け師とは別のものを描きたいと思っただけです。その時に現存する薩摩ボタンに出会い、「自分で描いてみたい」と思いました。
前田 大変だったことは？
室田 途絶えた技術を復活させる際に、「そんなの売れないよ」というような叱咤激励を受け、一喜一憂することもありましたね。「負けるもんか」という思いで作り上げてきたことを覚えています。
前田 1ヶ月でどれくらい作るの？
室田 手作業の上、窯で3回焼く工程のため、最大で30個が限界で

すね。展示会や直接お越しただいて、ご注文を承っています。
前田 1個の価格は？
室田 小さいもので8400円からです。大きさやデザインなどによって異なってきますね。
前田 一番苦労することは？
室田 やっぱり、デザインを決める時ですね。お客様のオーダーなどから「お客様がほしくなるもの」「高級感があるもの」を作るように心がけていますし、「需要と供給」のバランスも考えてますね。
前田 最初に作った作品は？
室田 独立をした30歳の時ですね。日本ボタン大賞で優秀賞をいただいた「環珞紋裏七宝紋」という作品で、思い入れが強い作品ですね。
前田 室田さんの薩摩ボタンに対する思いをお伺いして大変勉強になりました。また機会があれば、ぜひお話を聞きまして、これからの自分の糧にしていきたいです。



環珞紋裏七宝紋
環珞(ようらく)とは、珠玉を連ねた装身具のこと。この環珞をモチーフに、盛り金技法を駆使し、裏には七宝紋が絵付けされている。

さんざいったい

三校一体



1. 養護老人ホーム垂水華厳園の入り口にある窓。ここに装飾を施します 2. 事前に検討を繰り返し、作ってきたパーツを手作業で組み合わせていきます。すると下のようになります。中央には春夏秋冬を表す花をレイアウト。 3. 完成後は利用者の方々との記念撮影！



弓道の弓

弓道の矢

柔道着

バレーボール



三つの競技を一つの体に宿す男

山下 壽也

教諭

Profile

やました としや
 垂水高校教員生活 1年目
 28歳 / 鹿児島市武岡出身 / 吉野中学校卒・玉龍高校卒・鹿児島大学教育学部卒 / 鹿屋養護学校・玉龍高校で期限付教員として勤務し、垂水高校に至る。

Title : Mika Otakeno

平成24年度から垂水高校に勤務し、保健体育を担当し、柔道を専門種目としています。高校では、女子バレー部、弓道部、柔道同好会の顧問・副顧問をしています。初めて行う種目に戸惑いもありましたが、生徒と一緒に学びながら、指導力・競技力の向上を目指しています。弓道部は、平成23年度に全国大会出場を果たした実績があります。現在生徒たちに負けないように1年生とともに切磋琢磨しながら日々練習に励み、昇段審査にて初段を獲得しました。その一方、現在女子バレー部はメンバーが一人足りず、試合に出場できません。新入生にはぜひ弓道部が女子バレー部に入部してもらいたいと思っています。これから「二足のわらじ」ならぬ「三足のわらじ」を極めるため日々努力と精進を重ねていきます！

部活、それは青春の輝き フカツなう。



美術部

美術部は、作品製作や美的センスをもって、校内行事や校外での文化交流行事に参加しています。その私たちに昨年4月、地元の養護老人ホーム「垂水華厳園」から玄関窓のステンドグラス風装飾の依頼があり、構想と制作を重ねた結果、年末にやっと完成し飾り付けが出来ました。園の方々にとっても感謝され、やりがいを感じました。垂水高校では、複数の部活に加入する生徒も多く、美術部も例外ではありません。でも、私たちは美術が好きで、文化祭等の看板作り、実技講習会、高美展で各自の個性を生かした作品作りに励んでいます。自分流の表現で参加できる楽しさが魅力の部です。



垂水高校には、16の部活があります！ここでは、その部活の「今」をご紹介します。体育系：①野球部②サッカー部③ソフトテニス部④卓球部⑤バレーボール部⑥ダンス部⑦弓道部 / 文化系：⑧美術部⑨食物部⑩パソコン部⑪茶道部⑫垂水振興部⑬音楽部⑭科学部⑮書道部⑯放送部



垂水高校生への通学費補助を新設！

垂水市は、垂水高校生の「通学費の3分の2」を補助する取組を平成25年度から実施いたします！

※その他、平成25年度の垂水市における垂水高校支援の内容は、目次下（2ページ）で紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

鹿児島県立垂水高等学校

〒891-2106 鹿児島県垂水市中央町14 ☎0994-32-0062
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tarumizu/top.html/>

中学生の皆さんの
 ご入学を
 お待ちしております。